

# フィールドワーク

目的	管内や近隣地域の防災対策を講じている企業・地区の様子を見学・研修することにより、地域防災について理解を深める。
場所	十字屋グループ（真庭市西河内 696-43） 北房文化センター（真庭市上水田 3131）落合校地（真庭市落合垂水 448-1）
期日	平成24年7月26日（木）
参加者	こち防生徒実行委員会および参加希望者50名 （久世校地28名 落合校地22名）
取り組み内容	<p>★合同出発式</p> <p>★施設見学（備蓄倉庫等見学：十字屋グループ） 講師：三村 伸行 氏（株式会社十字屋 新規営業部門 JJSHOP 店長） ・太陽光発電、災害用浄水器、防災セット、汚泥脱水車・給水車等の見学 ・真庭市、新見市、吉備中央町、新庄村との災害協定の締結について</p> <p>★講演会（地域自治について：北房文化センター） 講師：塚崎 敏子 氏（上水田ふれあいたすけあい隊） ・地域住民連携による「救急医療情報キット」の全戸配布 ・認知症高齢者の見守り活動やその記録シートについて ・グループ討議</p> <p>★昼食（非常食試食：落合校地）</p> <p>★講演会（東日本大震災ボランティアについて：落合校地） 講師：的野 秀利 氏（国際貢献大学校・AMDA 国際事業団理事長） ・東日本大震災の物資の支援や放射線の除線作業等について ・被災地への図書カードに添付するメッセージカードの作成</p> <p>★ワークショップ（高校生にできる支援について：落合校地）</p> <p>★合同閉会式</p>
まとめ・評価	<p>両校地の生徒が、地域の防災対策というものについて考える契機となる企画であった。十字屋グループの見学においては、企業が地域のためにここまで準備しているという驚きを与えた。それぞれがそれぞれの立場でできることは何かということを考えさせられた。上水田ふれあいたすけあい隊の講演では、地域住民の連携が近年希薄なものになっていることか、いかにコミュニティーを維持していくかについて考えさせられた。国際貢献大学校的野的場氏の講演では、600枚以上のスライドでリアリティーのある支援の現場とその裏側について語られた。</p> <p>生徒達は、防災や支援というものが、一つの側面からしか捉えられていないことを実感し、多面的なもの見方や考え方が重要であることを気づかせる機会となった。</p>



非常用発電機



備蓄倉庫（米）



非常持ち出し袋の中身



備蓄倉庫（非常食）



医療情報キット



グループ討議の発表



講師の野秀利氏



東日本大震災の支援の様子のスライド